

「福島第二原子力発電所全基廃炉」に関する  
県議会議長コメント

本日、東京電力ホールディングス（株）の小早川社長から、福島第二原子力発電所に関して全基廃炉とする方向で検討するという意思表示を受けた。

県議会においては、県内全ての原子力発電所の廃炉について、県民の総意として、これまで4回にわたり意見書を可決するなど、東京電力及び国に対し、強く求めてきたものであり、この度の意思表示は、本県の復興に向けて大きな一歩となるものである。

今後、早期に社としての方針を決定し、福島第二原子力発電所の廃炉を進めていただきたいと考えている。

平成30年6月14日

福島県議会議長 吉田 栄光